別紙様式２

　　　　年　　月　　日

博士学位論文の全文を学術情報リポジトリで公表することができない理由書

大学院教育部長　殿

申　請　者

氏名　　　　　　　　　　　　印

主指導教員

氏名　　　　　　　　　　　　印

私は，博士学位を授与された後，博士学位論文の全文を帯広畜産大学学術情報リポジトリで公表することについて，以下の全文を公表できないやむを得ない事由により，その要約の公表に代えることを申請します。

なお，この申請が認められた後，学位を授与されてから１年ごとに，やむを得ない事由の状況報告書を提出しなかった場合には，本学学術情報リポジトリで博士学位論文の全文が公表されることに同意します。

記

論文題目：

□　博士学位論文が，立体形状による表現を含む等の理由により，インターネットの利用により公表することができない内容を含む。

（理由を具体的に記入すること）

□　博士学位論文が，著作権保護，個人情報保護等の理由により，インターネットの利用により公表することができない内容を含む。

（理由を具体的に記入すること）

□　出版刊行，多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載，特許の申請等のため，インターネットの利用による博士学位論文の全文公表により，明らかな不利益が発生する可能性がある。

（理由を具体的に記入すること）

□　その他，博士学位論文の全文をインターネットの利用により公表することができない特別な理由がある。

（理由を具体的に記入すること）

注意：

１．全文を公表できないやむを得ない事由があると認められた場合は，速やかに学位論文全文の電子データ及び学術情報リポジトリで公表するその要約を作成し，教務課に提出すること。

２．全文を公表できないやむを得ない事由があると認められた後，その事由が消滅した場合は，直ちに，別紙様式４により，やむを得ない事由消滅の報告書を教務課に提出すること。

３．全文を公表できないやむを得ない事由があると認められた後，その事由が消滅しない場合は，１年ごとに，別紙様式５により，やむを得ない事由の状況報告書を教務課に提出すること。